

ニュース

身近な街の変化をカメラレポート

# 熊本城桜の馬場観光交流施設「城彩苑」 新幹線観光の目玉に



▲正面ゲート前のスペースは大型バス待機場やタクシーベイ、建物左側がバイクの駐輪場、駐車場に

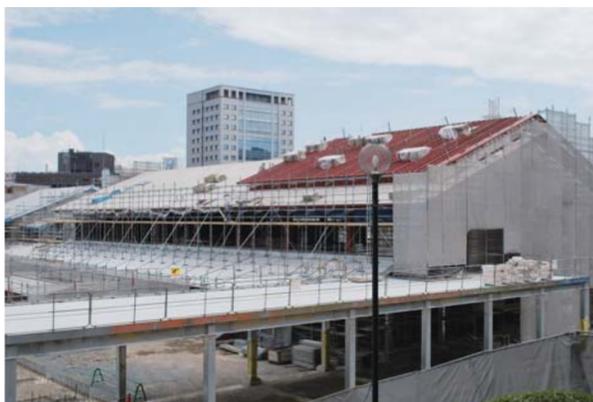


## オープンは2011年3月5日

▲歴史文化体験施設(左)は鉄骨造り2階建て、延べ床面積約3300㎡。右の建物は1階に総合観光案内所、2階が多目的交流施設が入る。(写真は7月21日、合同庁舎屋上から撮影)



物は旧ブルの上に建っている



▲敷地北側から見た歴史文化体験施設。建物は鉄骨ながら瓦ぶき、しつこい調の壁など「お城」のイメージにマッチした建物となる



▲施設の完成予想図。武家屋敷風の建物となる予定だ

熊本市が熊本城桜の馬場の旧県営熊本城ブルに建設している観光交流施設の名称が決定した。施設名は「桜の馬場城彩苑(じょうさいえん)」。2011年3月5日にオープンする。

来月3月の九州新幹線全線開業に合わせ熊本城を核とする観光の目玉として、今年2月から建設しており、歴史文化体験施設と飲食物販施設で構成。歴史文化体験施設は2階建てで、1階は加藤清正の入国から西南戦争までの熊本城の歴史を紹介する展示スペース。最新鋭の熊本城ヴァーチャル・リアリティ映像、細川文化を垣間見る衣装や道具の体験、大型紙芝居による歴史トピックスを紹介する。2階はスクリーンを備えた映像展示体験室で、映像、展示、人により歴史のハイライトをドラマ仕立てに演出し、熊本城の歴史を体験できる。

飲食物販施設は(株)熊本ホテルキャッスル、(株)お菓子の香梅、(株)福田農場ワイナリーなど地場有名店20社が23店舗を出店。館内は「阿蘇」、「天草」など地域別のゾーン分けがなされるなど熊本らしさが感じられるフロアになりそうだ。

本丸御殿と並ぶ熊本城の新たな拠点として、また観光客の回遊を生む中心市街地活性化の切り札としても期待される。



学生ら

景気低迷が続く中、大学生の内々定獲得社数が大幅に減少している。くまもと経済就職情報部・デビューが7月7日に熊本市国際交流会館で開催した就職面接会で行ったアンケート調査で分かった。

アンケートは2011年3月卒業予定の大学、短大、専門学校生及び既卒者が対象。回答者は125人で1人当たり平均13社の会社説明会に参加し、11社を受験しているが、採用内々定獲得が平均で0.03社だった。前年同月に比べて内々定獲得は0.19社減少している。前年同月の就職面接会では1人当たり11社の会社説明会に参加し、7.7社を受験、採用内々定獲得は0.22社だった。県内の就職戦線は6月末までに肥後銀行など学生に人気のある金融機関が内々定を出し終え、後半戦に移行している。県内の新卒者求人は昨年から減少し、買い手市場となっている。

後半戦は追加募集やこれから採用活動をスタートするなどの企業の動きがみられる時期に当たるが、景気の見通しが不透明なため、採用に対して慎重な姿勢をとる企業が目立っている。



## 内々定獲得社数が大幅減少

▲くまもと経済就職情報部・デビューが7月7日に開催した就職面接会

# 大学生の厳しい就職戦線続く